

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当なし。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金……職員に対する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき計上している。
- (5) 消費税の会計処理
消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	110,000,000	0	0	110,000,000
小 計	110,000,000	0	0	110,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	12,034,867	2,800,000	5,575,944	9,258,923
小 計	12,034,867	2,800,000	5,575,944	9,258,923
合 計	122,034,867	2,800,000	5,575,944	119,258,923

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	110,000,000	(110,000,000)		
小 計	110,000,000	(110,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	9,258,923			(9,258,923)
小 計	9,258,923			(9,258,923)
合 計	119,258,923	(110,000,000)	0	(9,258,923)